

# 平成23年度第3回 診療報酬調査専門組織DPC評価分科会

平成23年6月13日

財団法人倉敷中央病院  
院長 小笠原敬三

# 財団法人 倉敷中央病院 概況



2004年7月よりDPCに参加  
DPC係数(医療機関別係数)

2010年4月～ 1.3861

2010年8月～ 1.3890

2010年9月～ 1.3922

2011年4月～ 1.3923

所在地 岡山県倉敷市美和1-1-1

病床数 1,151床

(一般1,141床、第二種感染症10床)

職員数 2,755人(平成23年4月1日)

内 医師 428人、看護師 1,280人

診療科目 27科

入院患者(1日平均) 1,126人

外来患者(1日平均) 2,835人

平均在院日数 12.2日

紹介率 68%

逆紹介率 84.7%

救急患者数 66,662人/年

救急車受入数 8,039台/年

手術件数 11,857件/年

分娩件数 1,196件/年

地域がん診療連携拠点病院

災害拠点病院、地域医療支援病院

二次救急病院

# プレゼンテーション内容

## 1. DPC/PDPSで問題となる高額薬剤・検査の実例

- ①抗腫瘍薬
- ②分子標的薬
- ③支持療法薬
- ④遺伝子検査

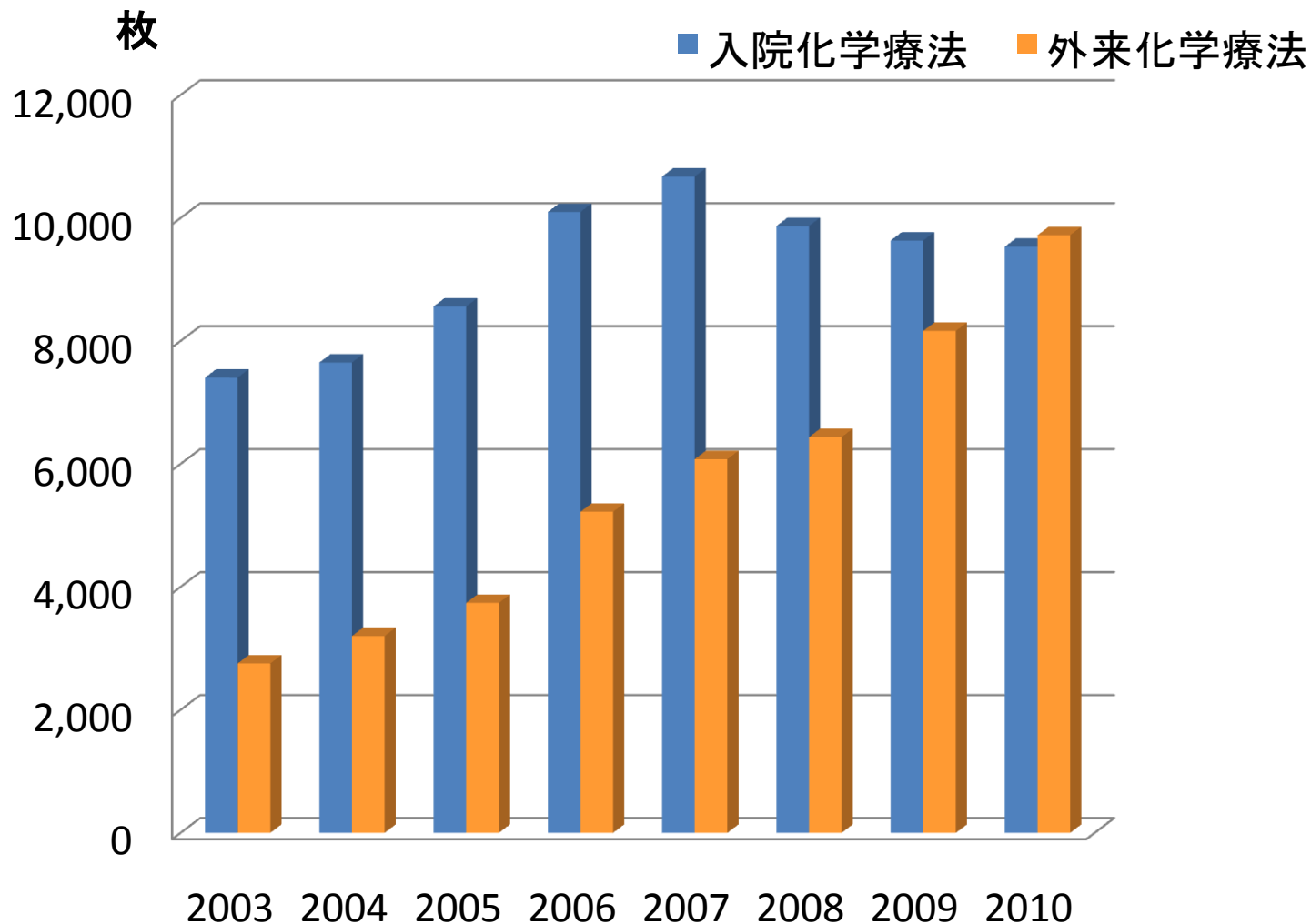
## 2. 同一DPCにおけるバラつきの実情

- 個別患者ごとの薬剤やregimenの違いによるバラつき
  - ①リツキサン症例
- Regimenの種類によるバラつき(同一薬剤であってもregimenが異なる)
  - ①大腸がん症例
  - ②胃がん症例

# 入院がん化学療法の要件

- 初回治療
  - 急性・遅発性副作用が予測される
  - 化学療法実施後の経過を観察
- 持続注入を要するレジメンを使用する場合
- 術後、化学療法を実施する場合
- 症状緩和で入院中、化学療法を実施する場合

# 倉敷中央病院における化学療法実施件数



抗悪性腫瘍剤だけでなく、レミケードなど外来化学療法加算を取得できる薬剤のレジメンを注射薬調剤室で調剤した件数を1年単位でグラフにしている。

# 倉敷中央病院化学療法の管理(がん化学療法審査委員会)

がん化学療法審査委員会 > 01 化学療法指示録 > 27 血液内科 > 01 非ホジキンリンパ腫

## 01 化学療法指示録 > 01 非ホジキンリンパ腫

各診療科のプロトコル指示録を掲載しています。

新規 | アップロード | 操作 | ビュー

登録番号	種類	名前	更新日時
		2-CdA+MIT療法	2011/04/01
		CHASE療法 デキサート名称変更未梢	
		CHOP-E療法未梢 ドキソルビシン変更	
		CHOP療法 ドキソルビシン	
		CODOX-M療法カレンダー未梢 ドキソルビシン,変更【大量MTX指示簿	
		CPT-11単独療法	
		CVP療法未梢	
		DeVIC療法 デキサート名称変更未梢	
		EPOCH療法変法未梢	
		EPOCH療法未梢 ドキソルビシン	
		ESHAP療法	
		FCM療法未梢	
		FLU単独療法未梢	
		Hyper-CVAD療法 デキサート,ドキソルビシン	
		Hyper-CVAD療法(変法)改訂 デキサート名称変更未梢	
63		ICE療法未梢	
		IVAC療法改訂 デキサート名称変更未梢	
62		mini-ICE療法未梢	
		MTX+大量Ara-C改訂未梢	
		MTX大量療法未梢【指示簿付き】	
		Rituxan療法(1012改訂) CD20	
40		Rituxan療法(ゼラリン用)改訂未梢	
		THP-COP療法(アロキシ改訂) ペット予約対応	
		VMP療法未梢	
136		ベンダムスチン	
		減量CHOP療法 ドキソルビシン	
		減量THP-COP療法(アロキシ改訂) ペット予約対応	
		CPT-11療法(A法)	2011/03/25
		CPT-11療法(B法)	2011/03/25
		FOLFIRI	2011/03/25
		FOLFOX4	2011/03/25
101		IRIS療法	2011/03/25
		I-LV+5FU療法	2011/03/25
		mFOLFOX6 アレルギー対策版	2011/03/25
		mFOLFOX6	2011/03/25
		sLV5FU2	2011/03/25
		WHF動注化学療法	2011/03/25
65		XELOX療法(アレルギー対策版)	2011/03/25
66		XELOX療法	2011/03/25
22		セツキシマブ+CPT-11(2コース目以降)	2011/03/25
22		セツキシマブ+CPT-11(セツキシマブ初回400mg/m2導入用)	2011/03/25
23		セツキシマブ+FOLFIRI(2コース目以降)	2011/03/25
23		セツキシマブ+FOLFIRI(セツキシマブ初回400mg/m2導入用)	2011/03/25
112		セツキシマブ+mFOLFOX6 [セツキシマブ初回400mg/m2導入用]	2011/03/25
112		セツキシマブ+mFOLFOX6(2コース目以降)	2011/03/25
112		セツキシマブ+mFOLFOX6(2コース目以降)アレルギー対策版	2011/03/25
64		セツキシマブ療法	2011/03/25
116		パニツムマブ+CPT-11	2011/03/25
113		パニツムマブ+FOLFIRI	2011/03/25
114		パニツムマブ+mFOLFOX6(アレルギー対策版)	2011/03/25
114		パニツムマブ+mFOLFOX6	2011/03/25
115		パニツムマブ単独化学療法	2011/03/25
		ベシズマブ+FOLFIRI	2011/03/25
		ベシズマブ+FOLFOX4	2011/03/25
102		ベシズマブ+IRIS療法(ベシズマブ+XELOX療法から切り替える症例に限定使用すること。)	2011/03/25
		ベシズマブ+mFOLFOX6 アレルギー対策版	2011/03/25
		ベシズマブ+mFOLFOX6	2011/03/25
7		ベシズマブ+sLV5FU2	2011/03/25
66		ベシズマブ+XELOX療法(アレルギー対策版)	2011/03/25
66		ベシズマブ+XELOX療法	2011/03/25

# 1. DPC/PDPSで問題となる高額薬剤・検査

- ①抗腫瘍薬
- ②分子標的薬
- ③支持療法薬
- ④遺伝子検査

# がん化学療法（胃がん・大腸がん）

	抗腫瘍薬	分子標的薬	支持療法薬
単剤	S-1 CPT-11	セツキシマブ トラスツズマブ	
併用療法	5-FU／LV UFT／LV 療法 S-1／CDDP（胃） MTX／5-FU（胃） XELOX（大腸）		選択的NK1受容体拮抗型制吐剤 5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤 副腎皮質ホルモン製剤
レジメン	FOLFOX（大腸） FOLFIRI（大腸）	ベバシズマブ （大腸） セツキシマブ （大腸） パニツムマブ （大腸）	選択的NK1受容体拮抗型制吐剤 5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤 副腎皮質ホルモン製剤

日本癌治療学会：がん診療ガイドライン

制吐薬適正使用ガイドライン（2010年5月第1版 日本癌治療学会）

注）XELOX：カペシタビン＋オキサリプラチン



# がん化学療法における薬価・検査

## 1. 抗腫瘍薬

エルプラット点滴静注液100mg（オキサリプラチン）	薬価	¥	70,284
トポテシン点滴静注100mg（イリノテカン）	薬価	¥	15,600
ゼローダ錠300（カペシタビン）	薬価	¥	350.5

## 2. 分子標的薬

アバスチン点滴静注用400mg（ベバシツマブ）	薬価	¥	190,253
アービタックス注射液100mg（セツキシマブ）	薬価	¥	35,894
リツキサン注10mg/mL 500mg（リツキシマブ）	薬価	¥	209,585
ハーセプチン注射用150（トラスツズマブ）	薬価	¥	56,110

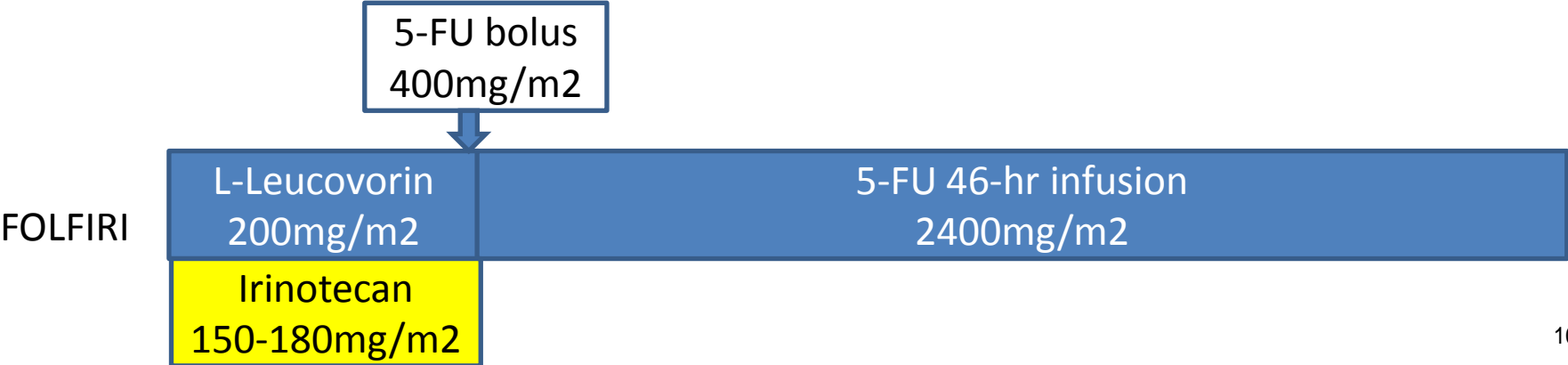
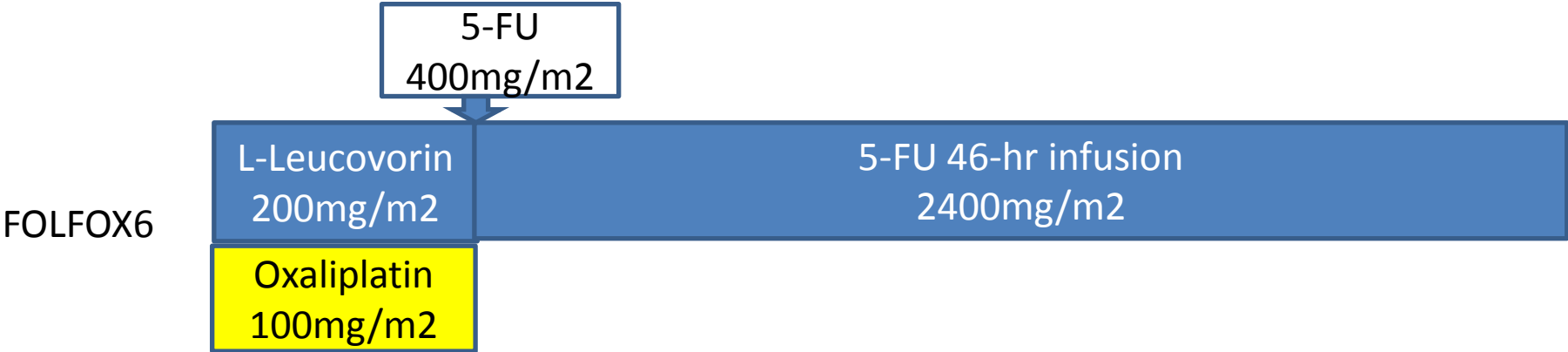
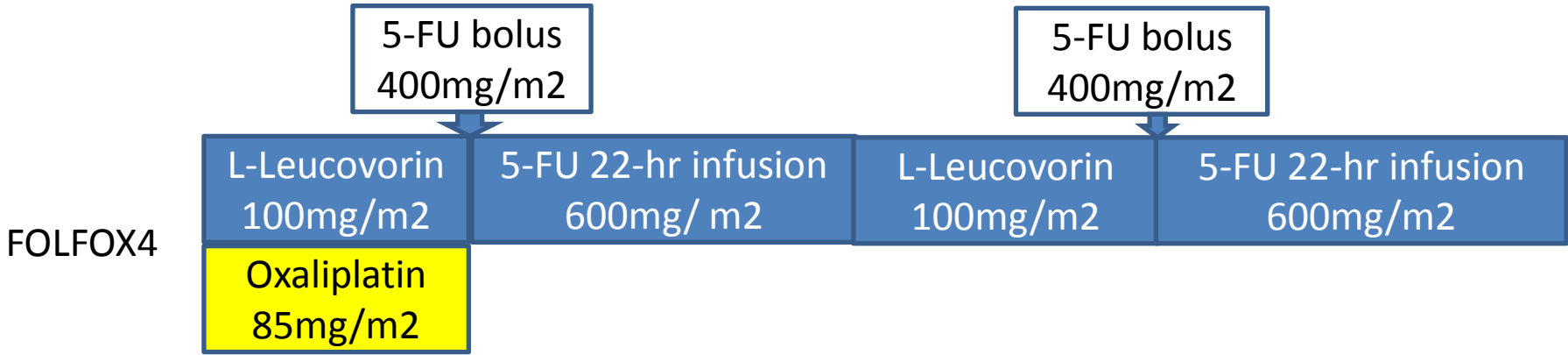
## 3. 支持療法薬

イメンドカプセル125mg（アプレピタント）	薬価	¥	4,946
アロキシ静注0.75mg（パロノセトロン塩酸塩）	薬価	¥	14,522
デキサート注射液 6.6mg（デキサメタゾン）	薬価	¥	203

（制吐薬適正使用ガイドライン 2010年5月第1版 日本癌治療学会）

## 4. 遺伝子検査

HER2テスト 2,500点、KRAS遺伝子codon12,13変異解析 2,000点
EGFR遺伝子変異解析 2,000点



# FOLFOX6に使用する薬剤

		一般名	製品名	薬価
1	選択的NK1受容体拮抗型制吐剤	アプレピタント	イメンドカプセル125mg	¥4,946
2	5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤	パロノセトロン塩酸塩	アロキシ静注0.75mg	¥14,522
3	副腎皮質ホルモン製剤	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	デキサート注射液 6.6mg	¥203
4	抗悪性腫瘍剤	オキサリプラチン	エルプラット点滴静注液100mg	¥70,284
5	活性型葉酸製剤	レボホリナートカルシウム	レボホリナート点滴静注用100mg	¥6,905
6	抗悪性腫瘍剤	フルオロウラシル	5-FU注250協和	¥420

通常、成人にはアプレピタントとして抗悪性腫瘍剤投与 1日目は 125mgを、2日目以降は80mgを1日1回、経口投与する。がん化学療法各コースにおいて、本剤の投与期間は3日間を目安とすること。

# FOLFIRIに使用する薬剤

		一般名	製品名	薬価
1	選択的NK1受容体拮抗型制吐剤	アプレピタント	イメンドカプセル125mg	¥4,946
2	5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗型制吐剤	パロノセトロン塩酸塩	アロキシ静注0.75mg	¥14,522
3	副腎皮質ホルモン製剤	デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム	デキサート注射液 6.6mg	¥203
4	抗悪性腫瘍剤	イリノテカン塩酸塩水和物	トポテシン点滴静注 100mg	¥15,600
5	活性型葉酸製剤	レボホリナートカルシウム	レボホリナート点滴静注用100mg	¥6,905
6	抗悪性腫瘍剤	フルオロウラシル	5-FU注250協和	¥420

## 2. 同一DPCにおけるバラつき

個別患者ごとの薬剤やregimenの違いによるバラつきはあるか

### ①リツキシマブ症例

# 非ホジキンリンパ腫 130030xx99x

DPC	手術	手術・処置2		入院期間 I 入院期間 II	入院期間 I、II 点数／日
1xx	なし	あり	中心静脈注射・人工腎臓・人工呼吸	1～10日 11～24日	3,595 2,791
2xx			放射線療法	1～16日 17～31日	2,413 1,762
30x			化学療法 敗血症なし	1～7日 8～17日	3,574 2,782
40x			リツキシマブ 敗血症なし	1～7日 8～17日	6,236 4,540
5xx			イブリツモマブチ ウキセタン塩化 イットリウム	DPC対象外	

# 包括評価と出来高の在院日数別分布

非ホジキンリンパ腫 リツキシマブ

非ホジキンリンパ腫

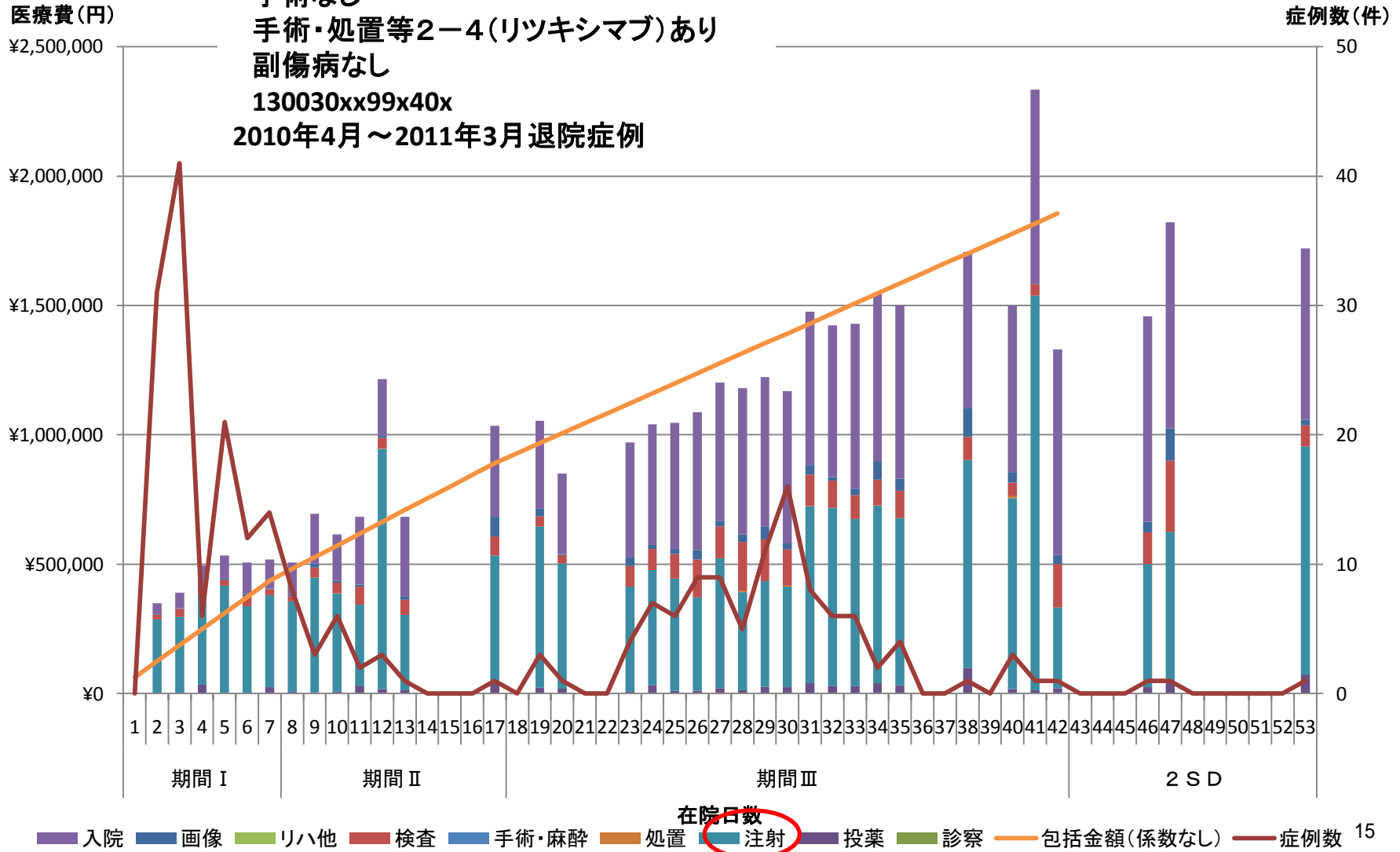
手術なし

手術・処置等2-4(リツキシマブ)あり

副傷病なし

130030xx99x40x

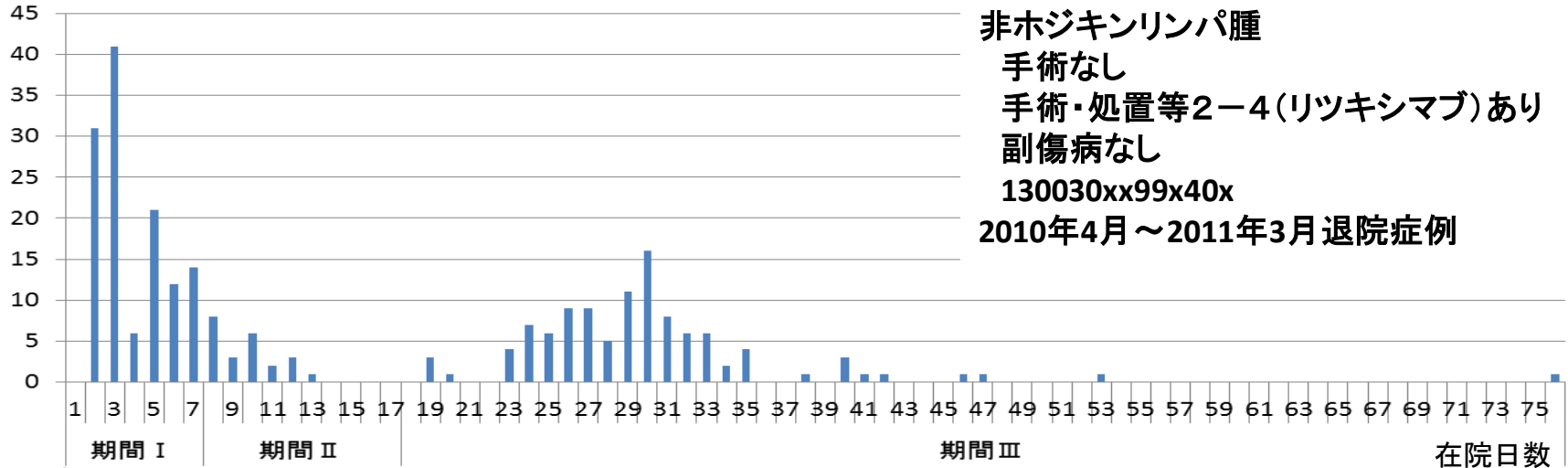
2010年4月～2011年3月退院症例



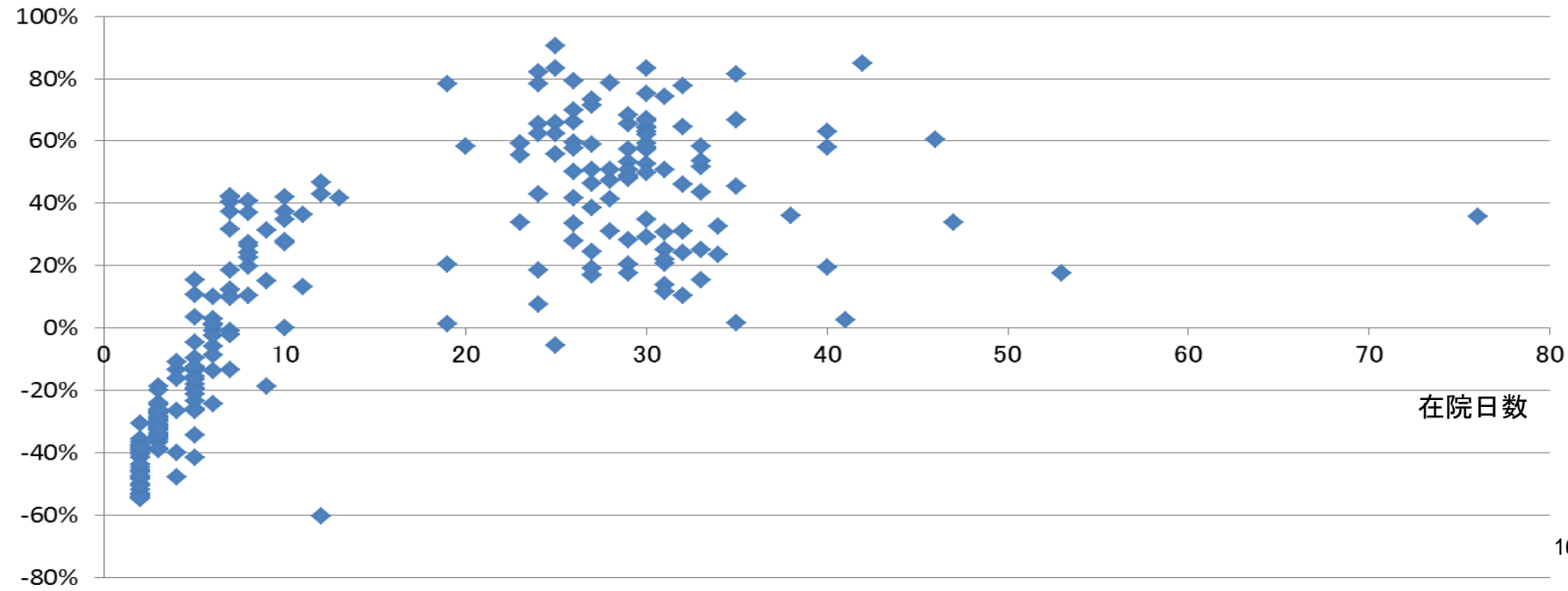
# 在院日数と対出来高差の状況

非ホジキンリンパ腫 リツキシマブ

症例数



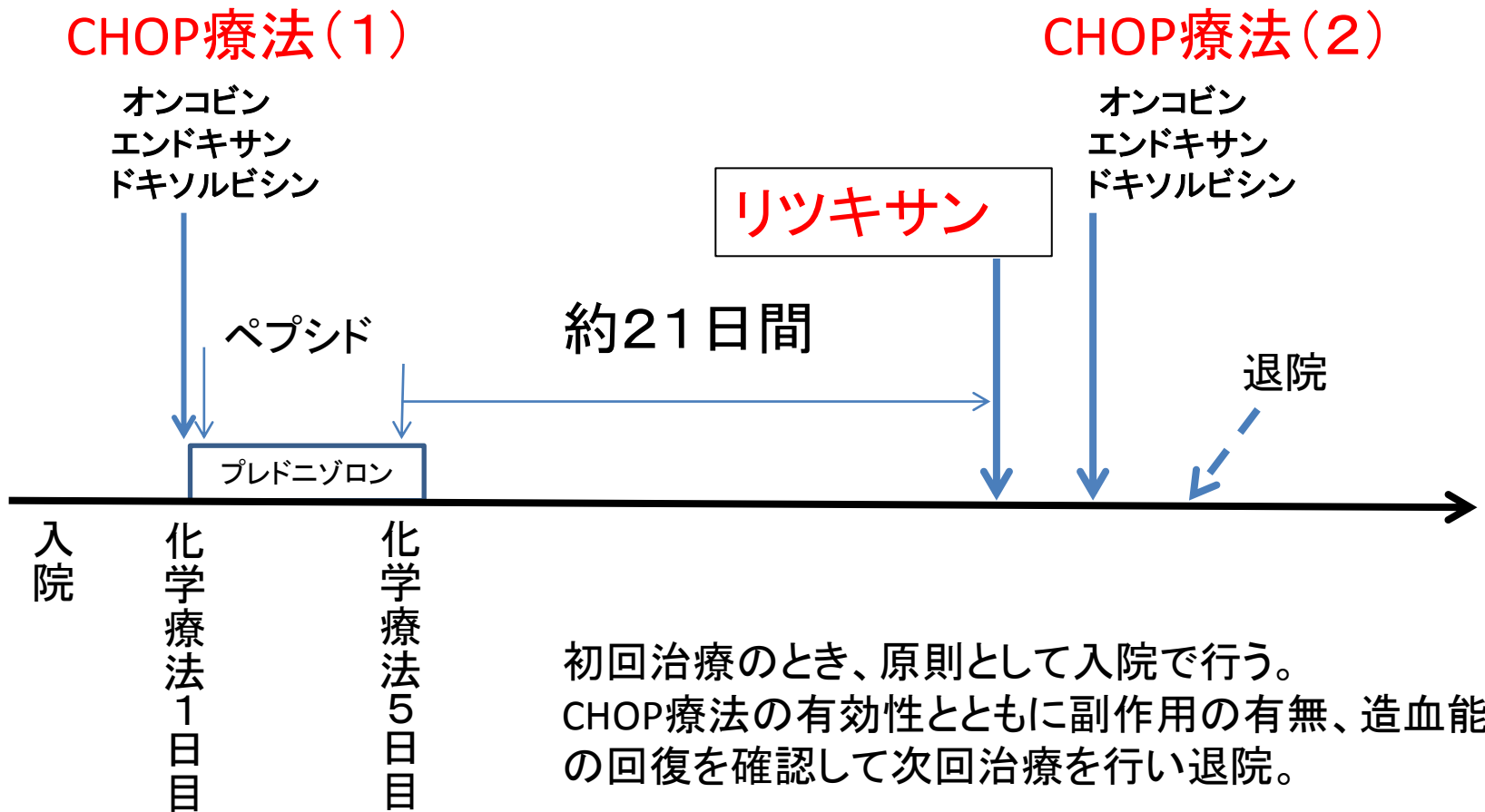
対出来高差





# 初回治療

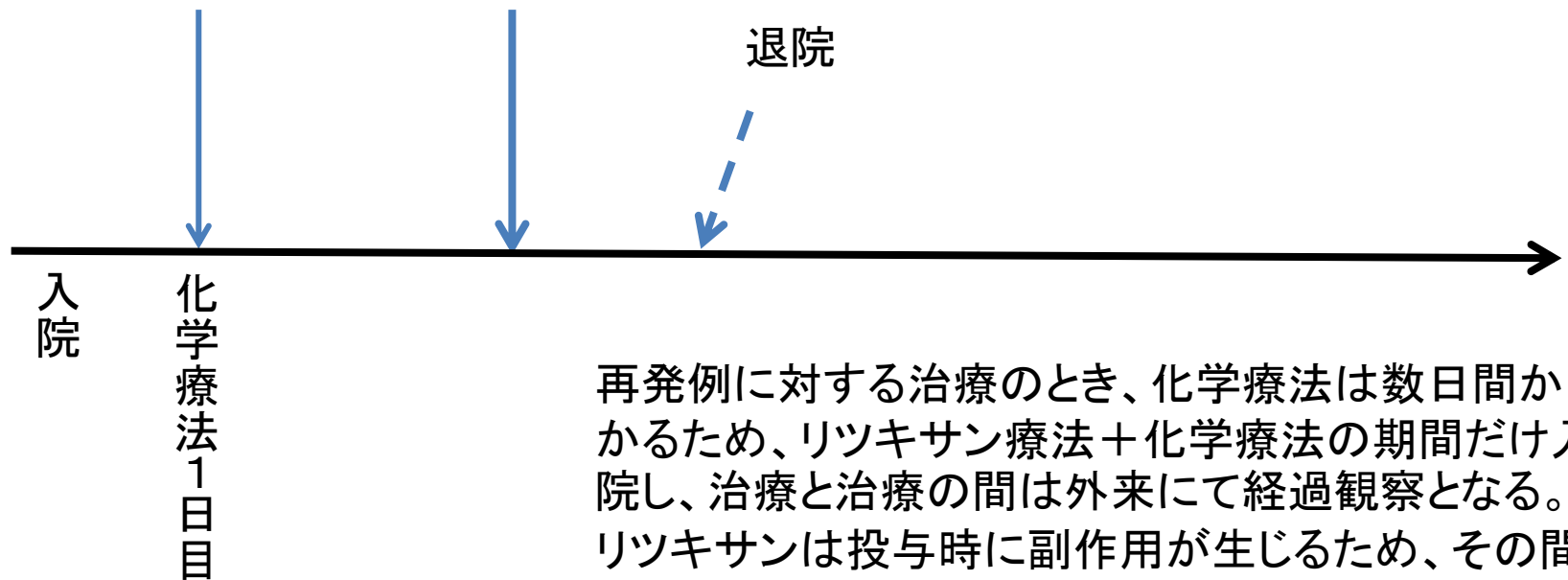
## CHOP療法＋リツキサン療法



# 再発例の対する治療 化学療法＋リツキサン療法

CHOP療法以外  
の化学療法

リツキサン



再発例に対する治療のとき、化学療法は数日間かかるため、リツキサン療法＋化学療法の期間だけ入院し、治療と治療の間は外来にて経過観察となる。リツキサンは投与時に副作用が生じるため、その間は副作用監視のため入院になる。

### 3. 同一DPCにおけるバラつき

Regimenの種類によるバラつきはあるか？

- ①大腸がん症例
- ②胃がん症例

# 大腸がん(結腸)化学療法060035xx99x

## DPCの推移

2004年②化学療法あり

2005年4月エルプラット(オキサリプラチン)薬価収載

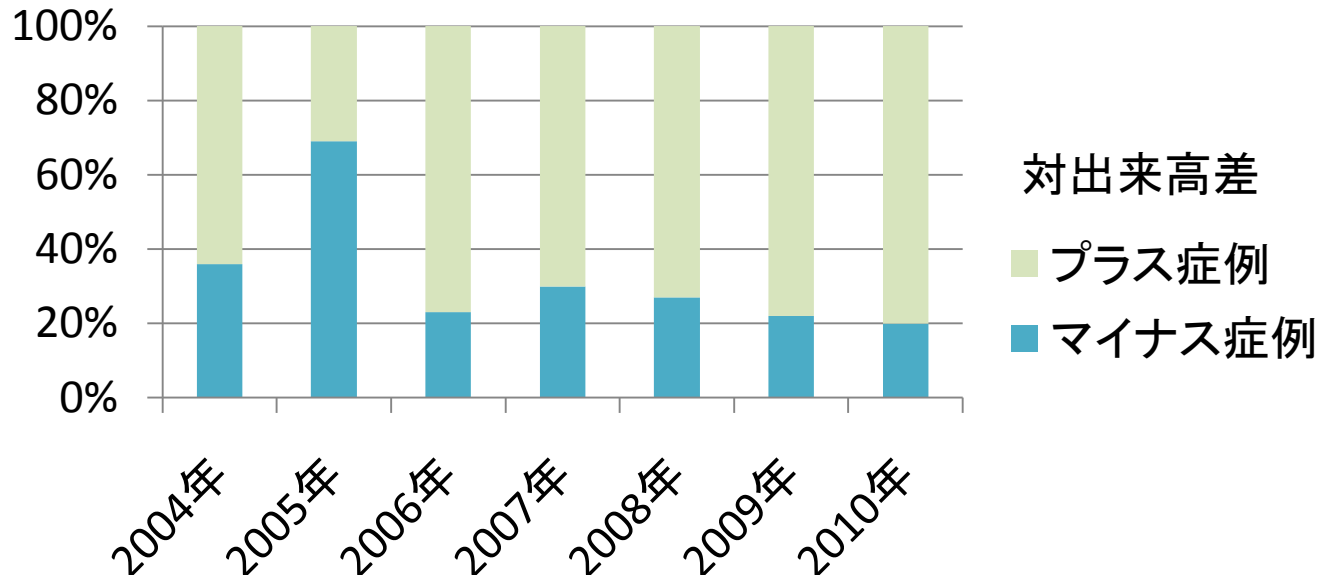
2006年②化学療法あり

2007年6月アバスチン(ベバシズマブ)薬価収載

7月1SDルール

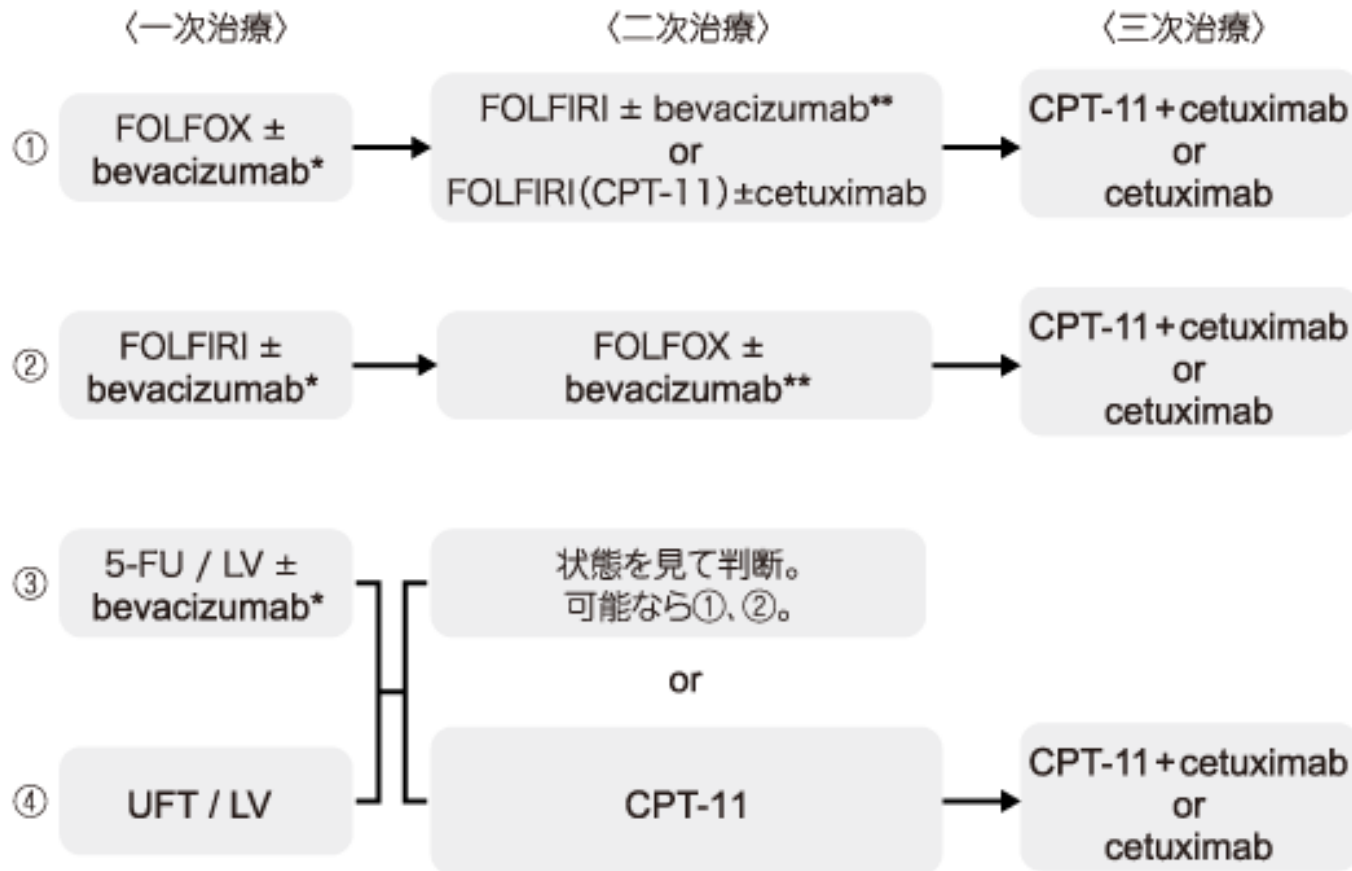
2008年③化学療法あり④FOLFOX⑤ベバシズマブ

2010年③化学療法あり④FOLFOX⑤セツキシマブ、ベバシズマブ



# 日本癌治療学会：がん診療ガイドライン 大腸がん治療アルゴリズム

[www.jSCO-cpg.jp/item/13/algo.html](http://www.jSCO-cpg.jp/item/13/algo.html) -



\* bevacizumabの投与が推奨されるが、投与不可能と判断した場合はその限りではない。

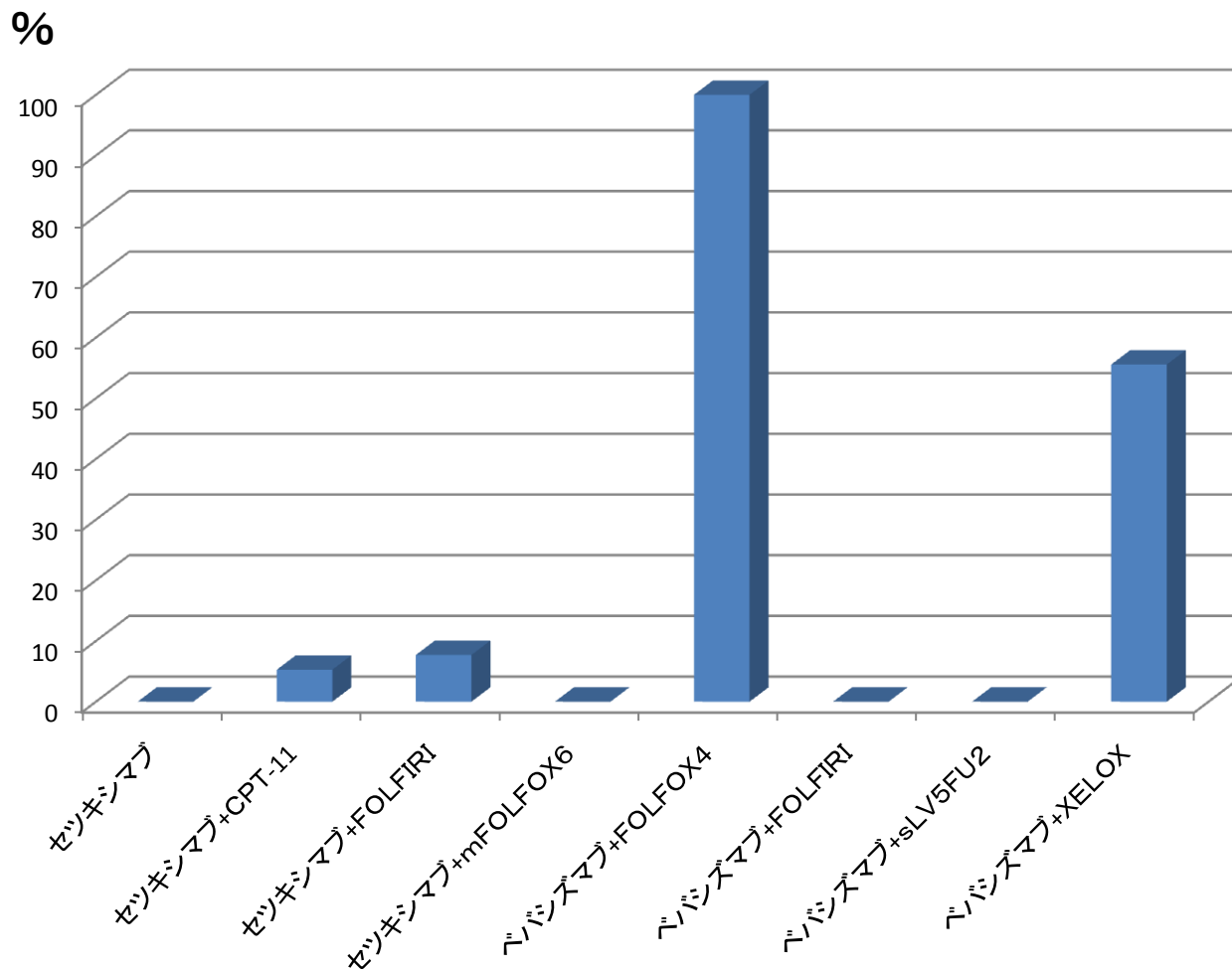
\*\*一次治療においてbevacizumabを投与していない場合、および一次治療の効果が持続しているがCPT-11やL-OHPの毒性のために投与を中止した場合は、二次治療でbevacizumabの投与が推奨される。

# 大腸の悪性腫瘍060035xx99x

DPC	手術	手術・処置等2		入院期間 I 入院期間 II	入院期間 I、II 点数／日	
1xx	なし	あり	①中心静脈注射 人工腎臓 人工呼吸	1～9日 10～21日	3,024 2,334	
2xx			②放射線療法	1～15日 16～29日	2,551 1,862	
30x			③化学療法あり 副傷病なし	1～2日 3～4日	5,036 2,611	FOLFIRI XELOX
4xx			④FU・LV・OHP	1～2日 3～4日	8,445 2,910	FOLFOX
5xx			⑤セツキシマブ ベバシズマブ	1～2日 3～4日	13,875 3,962	

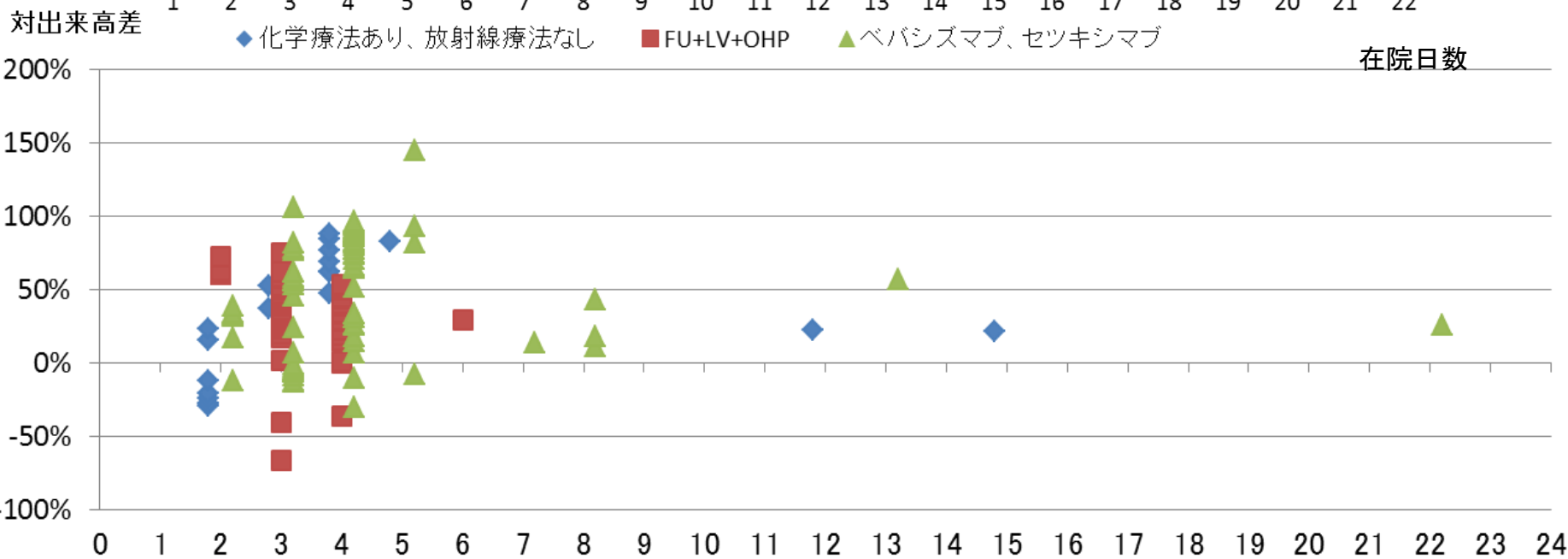
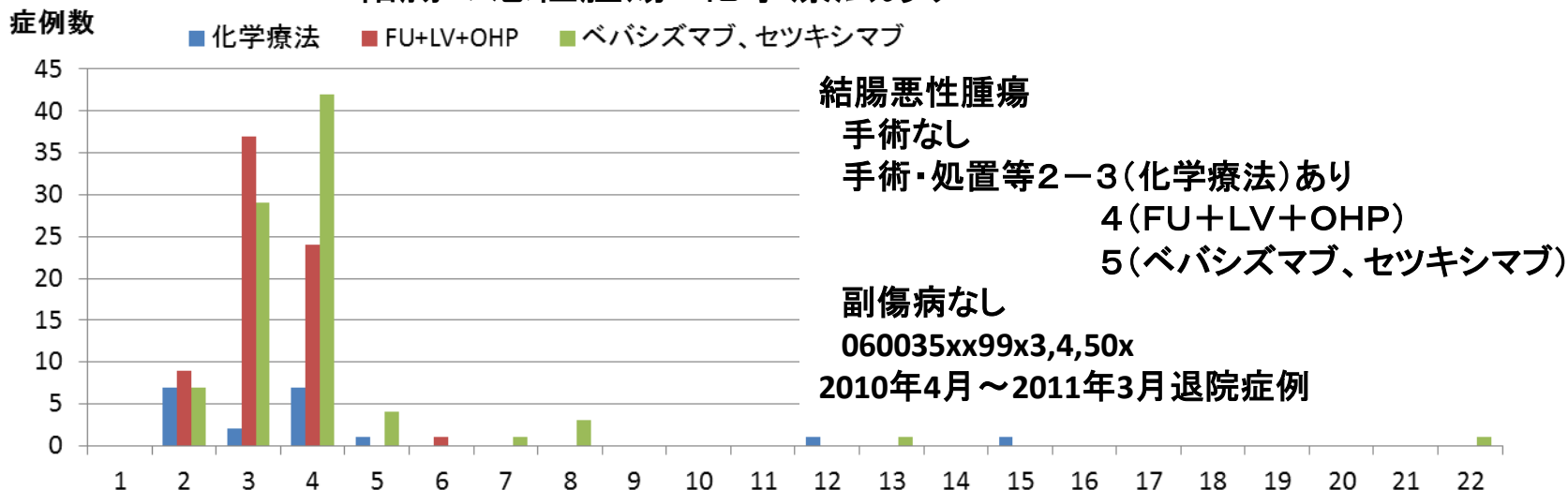
包括対象外  
パニツムマブ

# 大腸がん 060035xx99x5xx 対出来高差マイナス症例比率



# 在院日数と対出来高差の状況

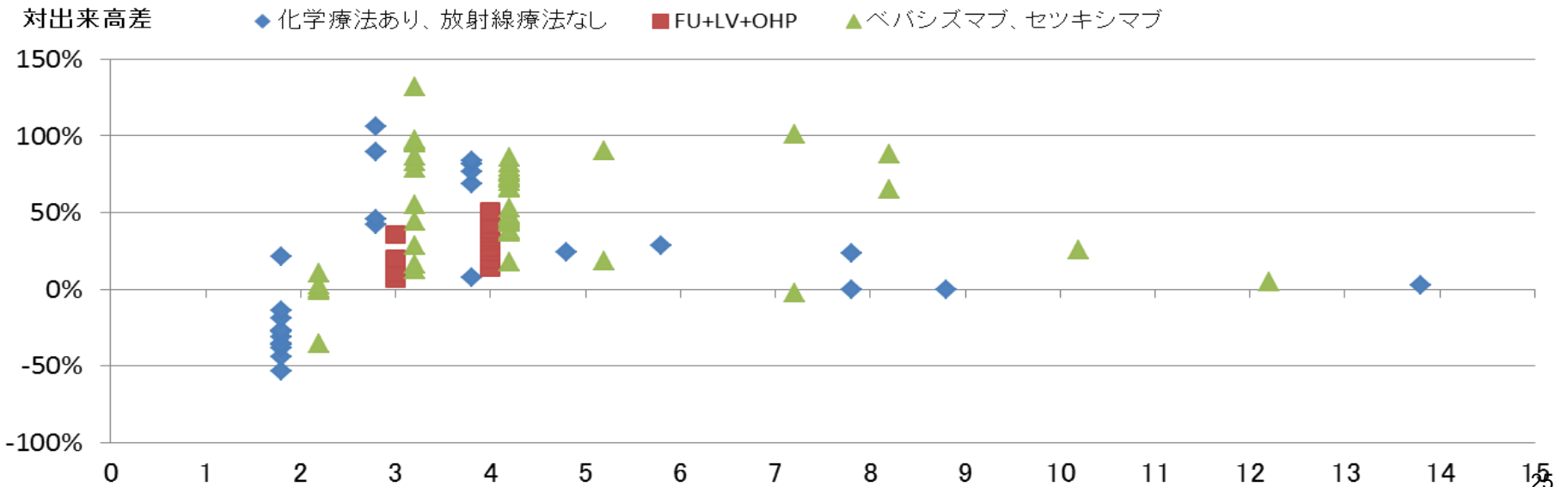
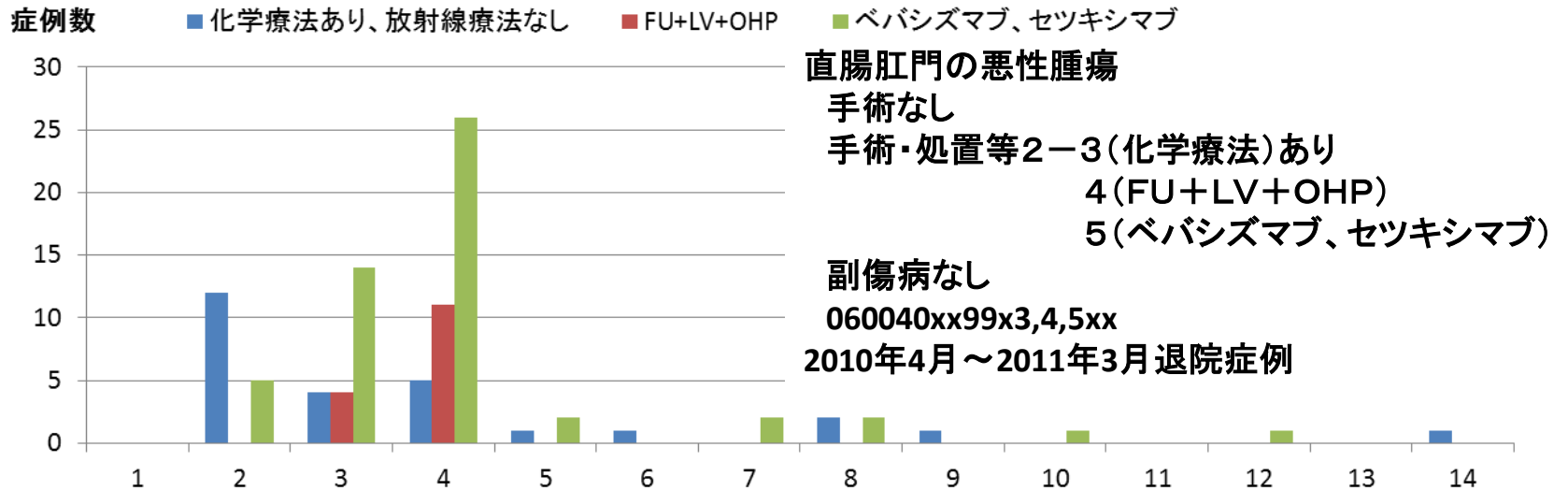
## 結腸の悪性腫瘍 化学療法あり



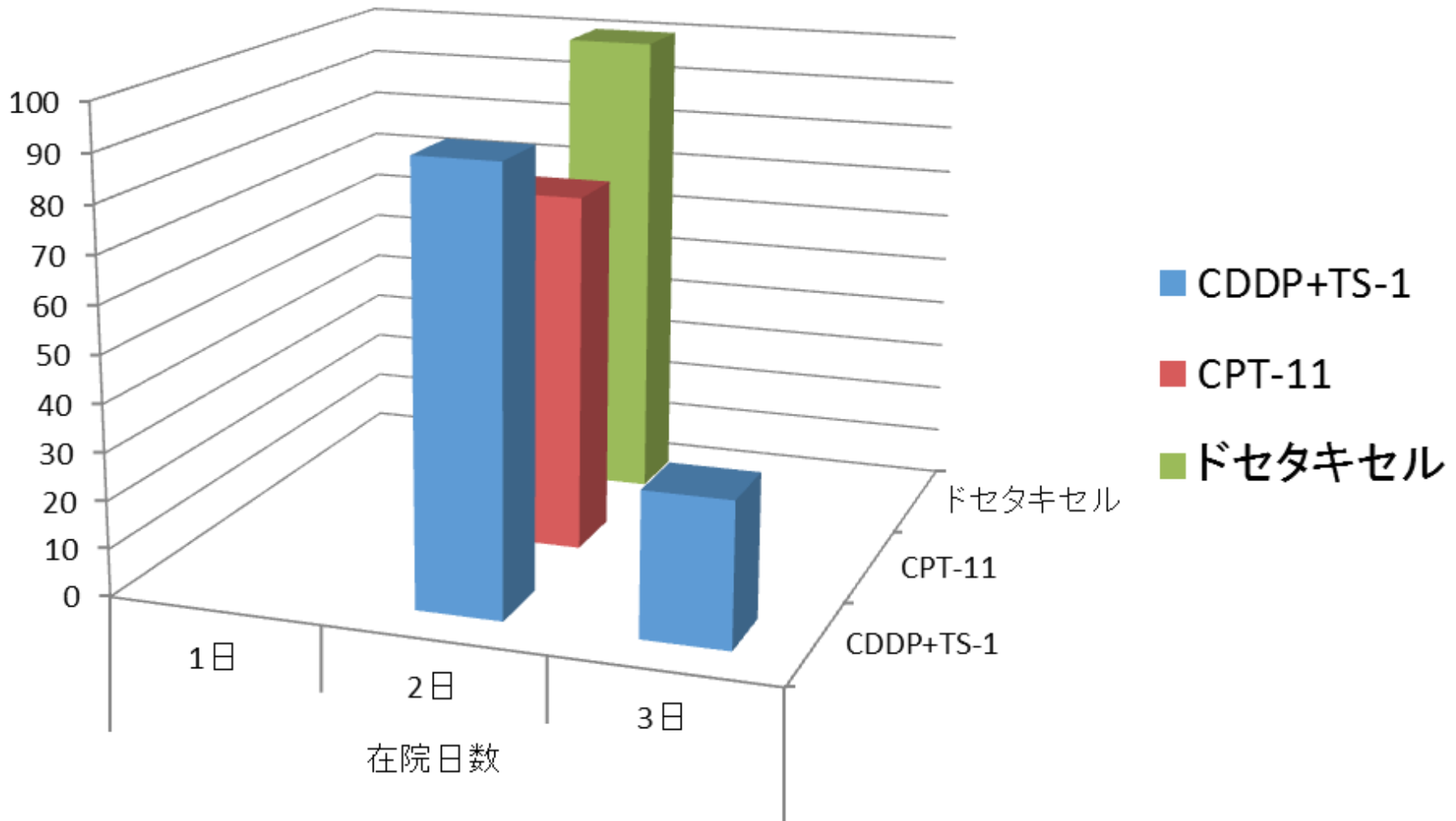


# 在院日数と対出来高差の状況

## 直腸肛門の悪性腫瘍 化学療法あり



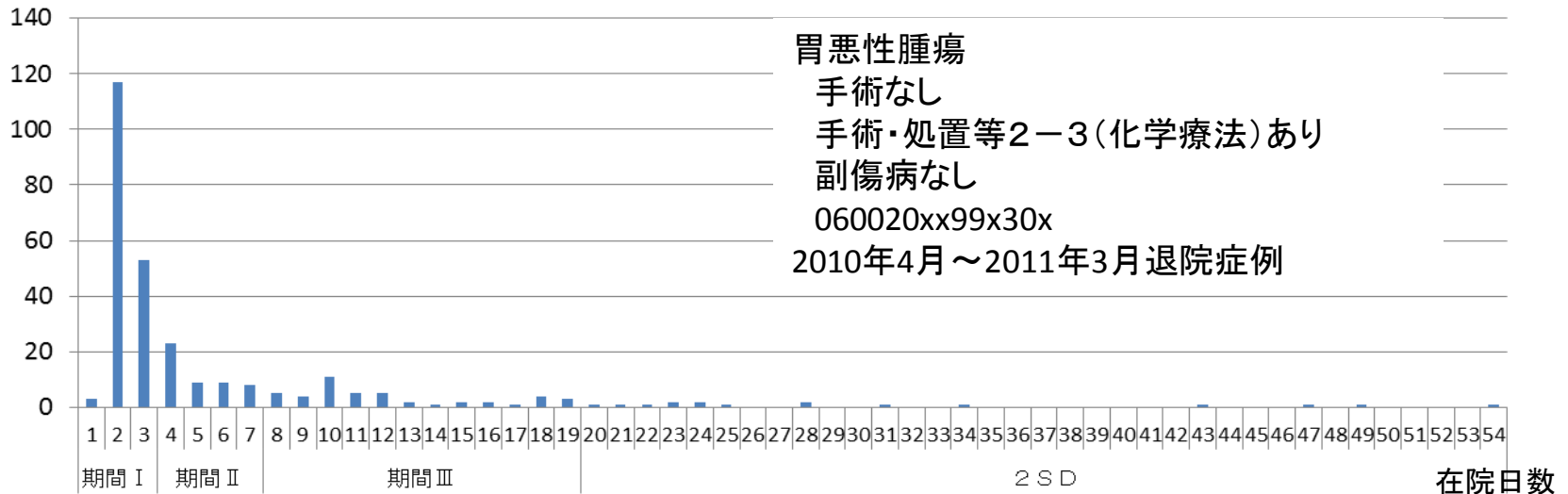
# 胃がん 060020xx99x30x 対出来高差マイナス症例



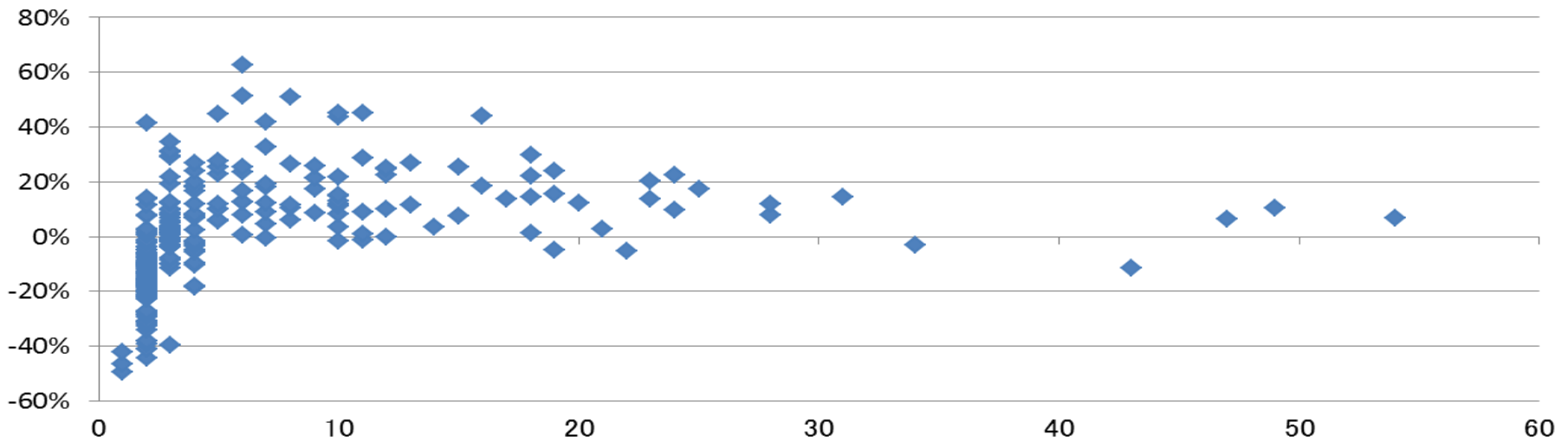
# 在院日数と対出来高差の状況

## 胃悪性腫瘍 化学療法あり

症例数



対出来高差



# 結 論

1. がん化学療法に使用する薬剤のうち、抗腫瘍薬、分子標的薬とともに支持療法薬が高額となっている。
2. 初回治療の化学療法と繰り返し行われる化学療法では、入院期間が異なる。非ホジキンリンパ腫のように、レジメンによりバラつきがあり、短期入院グループとその他の2つのグループに分かれた。
3. 大腸がんで分子標的薬を使用する場合、レジメンによる入院日数のバラつきがあり、入院日数が短いとき出来高点数が包括点数を上回る傾向があった。
4. 短期間で退院可能な特定のレジメンによる化学療法は、1入院定額の短期滞在手術基本料に準じた扱いにする、あるいは化学療法に要する部分を「出来高評価」とし、手術や人工腎臓などと同様に評価することが望ましい。